

性について勉強をしました。

7月3日(水)、3年生対象に性教育の授業を行いました。講師に産婦人科医の吉野一枝先生をお迎えして、「思春期のみなさんに知っておいてほしい性のお話」を聞きました。

生徒の感想からは、普段、他の人に聞きづらいことを学ぶことができて良い機会になった、自分の体について詳しく知ることができた、世の中に間違った情報がたくさんあるけど正しい情報を聞くことができて良かった等々、一人一人が真剣に向き合い、有効な時間を過ごせたようです。保健の授業をさらに深めることができて、これから生きていく上で、貴重な話になったと思います。



感想から

男女の関係では、「NO」と言える関係が良い関係と言えて、そうでない関係はDVやデートDVなどの悪い事が起きる関係につながるとわかった。このような関係を作らないためには、4つのパワーを磨く必要があると知った。4つのパワーは自分と相手を「見つめる、表現する、コントロールする、認める」だが、相手をコントロールすることは絶対ダメなことで、悪い関係につながるということを理解した。(中略)自分の体を守るために、体の仕組みや扱い方を知ったり、どういうことが起こる可能性があるのかを考えた。ダイエットやたばこなどの体が傷つくような事は避けて、ワクチンを打ったり感染症についての正しい知識を身に付けるなど、今の自分にできる事を行っていきたい。

「自分のことは自分で決める」「自分の体は自分で守る」「自分の体を正しく知り、なりたい自分になる」この3つがとても大切なことだと分かりました。

社会に性に関する情報があふれている中から、正しい行動をとることにより「なりたい自分になる」ことができるということを学びました。今までピルは避妊のためだけだと思っていたけど、他にも頭痛や月経の痛みを和らげる効果もあることを初めて知りました。痛みがひどい時は無理せず飲んでいいと言っていたので副作用や種類などしっかり調べて選びたいです。(中略)今のうちからできる事は、ダイエットをしない、たばこを吸わない、子宮頸がんワクチンを打つ、月経痛は無理せずピルの活用、自分の意志で選択、決断する、婦人科のかかりつけ医を持つことが大切だと思いました。相手に強引に求められてもしっかりNOといい、自分の体はしっかり自分で守ろうと思った。

自分は性についてあまり話したくないというかタブーだと思っていたけれど、正しい性の知識をお互いが知って共有することが大切だと思った。好きな人ができたら、お互いが楽しく過ごせるように配慮がとても大切だと思いました。

